

何も起こっていない時こそ防災を！

9月1日は1960年から「防災の日」に制定されました。これは1923年9月1日に起こった関東大震災が元になっています。この機会に日ごろの防災活動について確認し、十分な備えをしておきましょう。

まずは色々な災害について知っておきましょう！

日本では毎年様々な災害が発生しています。地震や津波、噴火、台風、大雨、強風、竜巻や雪害が主なものです。

災害によって自分達の暮らしにどんな影響が出るのかを想定しておくことが防災の第一歩と言えます。



万が一の場合の避難はどこへ？

災害により甚大な被害が出た場合、どこかに避難しなければならないことはわかっていても、どこに避難したら良いかを正しく家族全員が把握しているでしょうか。また避難所までの安全な経路の確認は済んでいますか。

■ 沼田町内の避難所 ■

沼田小学校／沼田中学校／生涯学習総合センター「ゆめつくる」

健康福祉総合センター「ふれあい」

各活性化センター（共成、北竜、恵比島）、更新会館

各コミュニティセンター（中央、高穂、共成、東予）

沼田町「防災のしおり」

皆さんのお家にも「防災のしおり」という冊子があるかと思います。その冊子には沼田町の防災に関するあらゆる情報が載っています。

一度家族でこの冊子に目を通し、防災の備えが万全かを確認してみましょう。



【学校運営協議会の新しい取り組み「1日防災学校」】

学校運営協議会では、「小・中学校グラウンド美化一斉運動」や「あいさつ運動におけるポスター・標語コンクール」を実施しているところですが、今年度より「1日防災学校」を開催しました。

この事業は、小学校1年から中学校3年までの9年間による系統的な防災教育を実施し、不慮の災害に備え、主体的に行動できる沼田っ子を育むことを目的としています。

今後は、地域と一緒に防災について考える取り組みを行っていきます。



お問い合わせ…沼田町教育委員会（電話 35 - 2132）

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>

